



# 学校便り 信明の窓

No.10

令和4年1月21日  
松本市立信明中学校  
教務主任：下島史生

新年、あけましておめでとうございます。登校日数47日の3学期もすでに10日あまりが過ぎ、2月の足音が聞こえてくる頃になりました。「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る」とはよく言ったものですが、簡単には往かせない、逃がさない、そんな1月・2月にしたいものです。

和名「**篝火花**」——。文字通り**篝火**のごとく、鮮やかに燃えあがる情熱の花。今、教室ではこの**篝火花**が美しく咲き誇り、生徒を見守っています。洋名を「**シクラメン**」。ソロモン王の伝説にも登場し、「別れを惜しむ」の意をもつ、由緒ある花です。



## ◆全校より (12/20~1/21) 3学期 スタート☆アップ

12月20日(月) 生徒会役員引継ぎ会

12月24日(金) 賞状伝達式・2学期終業式

12月25日(土) 年末年始休業(～1月5日)

1月1日(土) 元旦

1月6日(木) 3学期始業式・全校身体測定

1月7日(金) 3年第5回総合テスト

1月18日(火) 後期第1回生徒集会

〃 後期第1回生徒会

1月21日(金) 英語検定一次

\*12/22より私立高校の各種入学選抜開始～

さまざまな制約の中、いかに最大限の活動に取り組むか——。工夫と試行の連続だった信明中学校の2021年も、**2学期終業式**とともに静かに幕を下ろしました。終業式に先立つ賞状伝達式では、女子ソフトテニスで好成績を残した1ペアと、作文や絵画、家庭科といった分野での作品が高い評価を受けた21名の皆さんに対し、賞状伝達が行われました。つづく終業式では、各学年を代表して3名の皆さんが所感を発表し、校長先生がしめくくりのお話をされました。

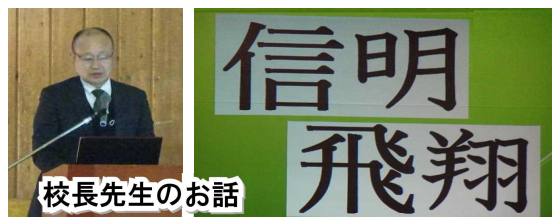


賞状伝達式



2学期終業式 生徒所感発表

校長先生はその中で、「2学期の始めに「私たちはまるで、嵐の海を漂う一隻の船のようだけれど、全校で協力して乗りきっていきましょう。船は絶対に沈めない」という話をしましたが、2学期が終わろうとしている今、私たちは全校で力強く、船を前に進めることができました。



校長先生のお話

# 信明 飛翔

飛翔祭も合唱発表会も大成功でした。皆さんの努力と工夫、協力に感謝です」と話され、さらに、今年の世相をあらわす漢字にふれ、「1位は**金**、でしたが、ベスト20に入った漢字の中には**明**、と**翔**がありました」と、私たちにゆかりのある漢字を紹介してくれました(信明中学校の文化祭は**飛翔**祭です)。そして、「まだまだ厳しい航海が予想されますが、2022年も、全校の皆さんで、**明るく、力強く翔びたっていきましょう**」としめくくられました。

【生徒所感発表】1年3組 女子 : 私が2学期にクラスで感じたことは「笑顔」が多かったことです。私たちのクラス目標は「素敵に笑顔あふれるクラス」です。「笑顔」が多かったのは、飛翔祭や合唱発表会へのクラスの取り組みが影響したと思います。合唱発表会では、私は指揮をしました。みんなが歌いやすいように自分なりに工夫しました。練習していくにつれ、みんなの歌声も大きくなり、とても嬉しかったです。こういった行事に対する取り組みでクラスに団結力が生まれ、「笑顔」も多くなったと感じました。

【生徒所感発表】2年3組 男子：僕は2学期で反省すべき点が2つあります。1つ目は勉強の継続です。2学期の最初は継続して勉強に取り組みました。しかし、後半では毎日継続することができませんでした。3学期は継続して勉強できるようにしたいです。2つ目は時間を大切にすることです。僕は遅い時間に寝てしまうことがあり、遅刻しそうになったことが何回もありました。3学期は時間を大切にすることで充実した生活を送りたいです。「継続」と「時間」を3学期の課題として、がんばりたいです。

【生徒所感発表】3年4組 女子：3年4組は、優しくて不思議な人しかいないふわふわした雰囲気のあるクラスです。私はこのふわふわした雰囲気にたくさん助けられました。緊張してるときも悲しいことがあったときも不思議なパワーで助けてくれるので、とても感謝しています。そして、3学年にも感謝しています。飛翔祭でも音楽会でも日々の生活でも、こんなに楽しい2学期を過ごせたのは、この3学年だからです。あと3ヶ月でそれぞれの進路に進んでいきますが、3学年のパワーで支え合っていきたいと思います。

明けて2022年——。寅年の1年が、幕を開けました。“虎は千里を走る。”と言います。あるいは“虎は千里を往って、千里を還る。”とも言います。いずれも「活力に満ちた行動力のあるさま」をあらわしています。信明中学校の皆さんの1年が、そうであることを心より願います。

1月6日の3学期始業式では、各学年を代表して3名の皆さんが決意を発表し、つづいて校長先生がお話をされました。校長先生はダルマを体育館にもちこみ、「今日はダルマの話をします。ダルマの由来はインド生まれの僧侶、達磨大師です。達磨大師は中国に渡り、9年間壁に向かって座禅をつづけました。その間に手足を失ってしましますが、悟りの境地にいたり、禅宗を開きました。ダルマの形は、その達磨大師をモチーフにしています」と話され、「ダルマといえば七転八起。何度転んでも、何度でも起きあがり、何度でも挑戦すればいいのです」と、全校を励まされました。最後は、全校を代表して小林生徒会長がダルマに目を入れ、一人一人の大願成就を祈念しました。そのダルマは今、昇降口で私たちを見守っています。



3学期始業式：生徒決意発表



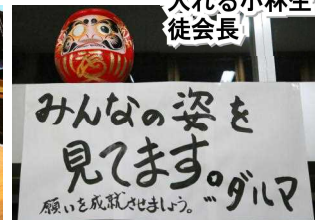
校長先生のお話



ダルマに目を入れる小林生徒会長



1年間校歌の伴奏を務めてくれた3年小松さんに感謝



みんなの姿も見てます。ダルマ  
願いと成就はせまう。

【生徒決意発表】1年1組 男子：3学期を迎えた今、僕にはがんばりたいことが3つあります。1つ目は学習です。テスト範囲を継続的に復習し、苦手意識をなくしたいです。2つ目は生活面です。机まわりなどの整理整頓を心がけ、集中して授業を受ける環境をつくりたいです。3つ目は部活動です。顧問の先生が「キツいトレーニングをしないと強くはなれない」と話してくれたことを忘れず、練習を積み重ね、結果につなげたいと思います。この3つの目標に向かって努力し、充実した生活を送りたいです。

【生徒決意発表】2年1組 女子：私の3学期の目標は、勉強量を増やすこととクラスの人と楽しく会話することです。3年生になるとテストの回数が増えます。今から勉強量を増やし、進路に向けての意識を高めたいと思います。また、クラスの人との会話は、クラスでの協力や充実した活動につながります。仲のよい人とだけでなく、あまり話したことがなかった人とも積極的に会話をし、修学旅行や生徒会を充実させたいです。この2つの目標を意識し、自分でもがんばったと思える楽しい3学期にしたいです。

【生徒決意発表】3年1組 女子：3年生の3学期は中学校最後の学期であり、いちばん忙しく、大変な学期です。人生の第一分岐点である進路は、自分で選択し、将来を決める大切なものです。私たちはその進路実現のためにさまざまな努力を積み重ねてきました。私としては、特に大切にしたいものを3つ決めました。1つ目は当たり前ですが、勉強です。2つ目はメンタルケアです。3つ目はクラスの人と仲良くすることです。以上の3つを心がけ、中学校生活最後の1日まで、悔いのない生活を送りたいです。

## ◆お知らせ◆

\* 新型コロナウイルス感染症が、松本市内でも拡大しています。本人及び同居家族で発熱や体調不良がみられる場合は登校を控え、学校にご連絡ください。万が一に備え、しばらくの間、生徒がタブレットを家庭にもち帰ります。詳細は、学校からの配信メールでご確認ください。

